

## ●社会性報告

# 従業員とのかかわり

従業員は「財産」という考えのもと、「個性を伸ばす」という経営理念を実践するため、人財育成や働きやすい職場づくりに力を入れています。

## 1 人財の活用 「働きがいのある会社」、 「働きやすい職場」を目指しています

### 退職金・企業年金制度の充実

入社から定年退職まではもちろんのこと、定年退職後も当社の一員であるという考え方のもとに、退職金・企業年金制度の改革を行いました。新しい制度は、貢献に応じて評価を決定する貢献主義人事制度と連動した制度とし、また、個人のライフスタイルに合わせた多様な選択が可能なものとし、定年退職後の個人生活を従来にも増して支援していきます。

### 高齢者への対応

定年退職者の経験・能力を活かすため、60歳以降も健康で働く意欲があり、かつ労働条件で会社と合意できた場合は、継続して働くことができる継続雇用制度を設けています。2009年4月からは、継続雇用の期間を65歳までに延長しました。

また、定年退職を迎える社員を対象に、退職後の生活設計を支援するための情報提供を行うセミナーを実施しています。

### 障がい者への対応

障がい者の方の採用については新卒採用、中途採用を含めて実施しています。今後も、職場環境を整備して、職場・職域の拡大を進め、雇用を推進していきます。

#### ■荒川化学単独人員構成

	人 数		
	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末
従業員数	655	662	679
内訳・男性	609	619	623
女性	46	43	56

#### ■雇用実績

	人 数		
	2006年	2007年	2008年
高齢者継続雇用	9	19	27
障がい者雇用	8	8	10

### 貢献主義人事制度の充実

「働きがい」をもって仕事に取り組むことで、より高い成果をあげるため、2005年度よりマネジメントクラス(管理職)全員を対象として、貢献主義(成果主義)人事制度を導入しました。報酬に関しては年俸制として職務給(給与)と成果給(賞与)で構

成し、成果給は業績に連動する制度としています。

また、成果主義の問題点を克服するため、数値目標だけでなく、社員の育成や成長を評価の項目に盛り込んだ制度としています。メンバークラス(非管理職)についても、「働きがいのある会社」「喜んで働ける会社」を目指し、育成を重視したメンバークラス貢献主義人事制度を2008年度より導入しました。

### 育児・介護休業法改正への対応

2003年7月に公布された「次世代育成支援対策推進法」に基づき、仕事と家庭の両立を支援するための行動計画を策定し、育児・介護休業法改正の趣旨に沿い、社員就業規則を改正しました。女性社員の採用についても、2007年からより積極的に取り組んでいます。

#### VOICE

入社2年目、環境に配慮した水系製品を開発中です。環境配慮とコストダウンや性能向上の両立は難しいのですが、既成概念にとらわれずさまざまな仮説を立てながら研究を進めています。困難な業務にも「自分らしく」明るく、楽しく、前向きに取り組む、お客様や生産現場などそれぞれの立場からの要求に応えることができる製品の開発を目指しています。



研究所  
岩橋 寿子

### 社内公募制度

2004年度より社内公募制度をスタートしました。この制度は、会社が必要とするポストや職務の要件をあらかじめ社内に公開し、応募した社員の中から適切な人財を選抜する仕組みで、会社と社員双方の意思を尊重した人財育成を促進するために実施しています。これまでに、この制度で選抜された社員は3名となりました。それぞれ、新しい職場で活躍しています。

### インターンシップ制度

荒川化学は、大学、高校の学生に荒川化学での働き方を体験していただくためにインターンシップ制度を実施しています。現実の仕事を通して、将来のキャリアプラン形成に役立てています。

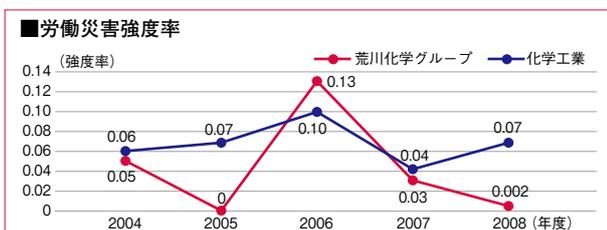


## 2 労働安全衛生活動

安心・安全で  
快適な職場環境づくりに努めました

### 労働災害

荒川化学グループで2008年度に発生した休業災害は、1件で2007年度の2件より減少しました。また、休業日数も3日で2007年度の49日より大幅に減少しました。2009年度は災害・事故ゼロを目標に、KY・ヒヤリハット・5S活動に加え、新たに構築した「保安全管理システム」によりさらに充実させていきます。



度数率=労働災害による死傷者数/延労働時間数×1,000,000  
強度率=労働損失日数/延労働時間数×1,000  
化学工業の労働災害度数率と労働災害強度率は、厚生労働省「平成20年労働災害動向調査(事業所調査(事業所規模100人以上)及び総合工事業調査)結果の概況」(平成21年5月28日発表)からの出典による。

### 健康管理

荒川化学グループでは、健康管理として法に定められた健康診断の実施とともに、衛生講話などを開催して健康増進に努めています。



研究所での産業医講演会  
(新型インフルエンザ)

#### ■健康管理実施状況

実施日	事業所	項目	内容
2008年5月21日	富士工場	衛生講話	メタボリックシンドロームについて
2008年7月17日	大阪工場	産業医講演会	生活習慣病について
2008年12月17日	研究所	医療講演会	インフルエンザについて
2009年1月13日	高圧化学	健康講話	新型インフルエンザ&免疫予防について
2009年1月20日	ヘルノックス	医療講話	インフルエンザの基礎知識
2009年1月23日	水島工場	医療講話	メンタルヘルスについて
2009年2月20日	小名浜工場	健康相談会	健康診断有所見者

### 安全衛生表彰

#### ●廈門荒川化学が「平安企業栄誉賞」を受賞

2008年12月に廈門荒川化学が「平安企業栄誉賞」を受賞しました。中国では「平安(安全)企業創建活動」(より多くの安全企業を作り出す活動)を展開中で、法規を順守し、環境に配慮し、労働争議、刑事事件が無く、無事故で安全生産をしている企業に与えられます。廈門集美区政府で数百社のうち、2008年度は30社が選ばれ、特に危険化学品の取り扱いに必要な安全生産許可証を取得している15社の中で、初めて受賞したことは大変名誉なことです。



「平安企業栄誉賞」の表彰状

#### ■安全衛生表彰実績

受賞日	事業所	表彰団体	受賞
2008年4月24日	富士工場	日本商会議所・富士商会議所	優良従業員(4名)
2008年5月21日	水島工場	岡山県	危険物優良取扱者(1名)
2008年5月22日	釧路工場	(社)北海道危険物安全協会連合会	危険物維持管理の功績(工場)
2008年7月1日	本社	大阪医薬品協会	感謝状(1名)
2008年10月23日	本社	大阪府	業務関係等功労者(1名)
2008年10月23日	高圧化学	(社)大正工業会(大阪市)	優良社員(1名)
2008年11月12日	水島工場	原子力安全・保安院(中国地域)	優良製造保安責任者(1名)
2008年11月27日	本社・大阪工場	大阪府工業協会	優良従業員(3名)

#### ●「ひがしセーフティドライブコンテスト」金賞を受賞

「ひがしセーフティドライブコンテスト」とは、交通安全協会を通じて大阪府警察が行う、無事故・無違反を目指すコンテストです。荒川化学は2007年10月から2008年3月の期間に参加し、5グループ、全128名が挑戦しました。結果は、関東グループ、富士・小名浜グループが無事故無違反の素晴らしい成績で、表彰式は2008年7月1日、大阪市中央区役所で行われました。

#### VOICE

2007年度ひがしセーフティドライブコンテストに、関東グループでは東京支店、筑波研究所から30名が参加しました。参加をきっかけにスピードの出過ぎなどを常に意識して運転するようになり、無事故無違反の金賞を受賞、周囲からも「やさしい運転になった」と言われました。今後も違反例の周知などを通じ、安全運転への意識を高めていきます。



東京支店  
松村 傑

# 3 教育訓練、防災訓練 全従業員の レベルアップを目指しています

## 環境教育

荒川化学グループのISO14001認証取得工場では、計画を立てて環境教育を実施しています。また、未取得工場では安全衛生計画の中で実施しています。2008年度、環境教育に費やした時間は、延べ1,315時間で増加しました。

また、教育研修制度の一環として通信教育講座を開設しており、修了により補助金が支給されます。2008年度は、環境・安全に関わる「ISO14001入門」などが開講され、22名が受講しました。この他、35名が資格取得のために、「公害防止管理者」などの講座を受講しました。

■環境教育実施状況 (時間)

教育内容	2007年度	2008年度
省エネ教育	5	45
ISO14001教育	469	947
自覚教育	317	323
合計	791	1,315

## 資格取得

荒川化学グループで必要とする環境、安全に関わる資格を表に示します。必要な人員を充足していますが、新入社員、転入者を主体として、積極的に資格取得の推進を図り、従業員のスキルアップにつなげています。

また荒川化学は、社内資格として「技能師」制度を設けました。これは、生産現場において特に優れた技術力と教育力を兼ね備えた社員に対して、技術の伝承と後進の育成の役割を担ってもらうもので、2008年5月に5名の「技能師」を認定しました。

■環境、安全に関わる資格 (人)

資格名称	2007年度末	2008年度末
公害防止管理者	39	39
エネルギー管理士	10	9
エネルギー管理員	5	6
廃棄物処理施設技術管理者	6	6
特別管理産業廃棄物管理責任者	14	16
環境計量士	2	1
作業環境測定士	2	2
衛生管理者	15	17
ボイラー技士	159	167
危険物取扱者	659	689
高圧ガス製造保安責任者等	76	82

## 防災訓練

荒川化学グループでは、化学メーカーとして多くの危険物を貯蔵および取り扱いしていることから、各事業所で発生する可能性のある大規模事故を想定し、年間計画を策定して防災訓練を実施しています。

■2008年度防災訓練一覧表

月日	事業所名	内容
2008年4月29日	徳島工場	消防訓練
2008年6月9日	小名浜工場	停電訓練
2008年6月10日	大阪工場	合同防災訓練(研究所含む)
2008年6月28日	富士工場	夜間消防訓練
2008年7月4日	鶴崎工場	消火訓練
2008年9月1日	富士工場	総合防災訓練
2008年9月1日	小名浜工場	地震防災訓練
2008年9月5日	釧路工場	防災訓練
2008年9月18日	大阪工場	総合防災訓練(研究所含む)
2008年9月29日	水島工場	合同防災訓練
2008年10月3日	ペルノックス	消防訓練
2008年12月27日	高圧化学	地震・津波想定防災訓練
2009年1月19日	研究所	地震想定防災訓練
2009年1月19日	大阪工場	地震想定机上防災訓練
2009年2月13日	東京支店	消防訓練
2009年2月16日	富士工場	総合防災訓練
2009年3月17日	徳島工場	防災避難訓練ミーティング
2009年3月18日	本社	消防訓練



大阪工場・研究所／合同防災訓練



ペルノックス／消防訓練



高圧化学／防災訓練



富士工場／防災訓練



研究所／防災訓練

## VOICE

このたび認定された「技能師」とは、生産現場における作業員としての心構えから製造手順や設備の扱い方、労働安全衛生までを含む、現場でのノウハウ全体に熟知したキーマン的存在。今後は、自分が今まで先輩に教えられたように、これまで培ってきた様々なノウハウをよりきめ細かく、よりわかりやすく若手社員に伝えていきたいと思っています。



大阪工場  
奥田 勝広